

## 3DX

3D PRINTING EXPERIENCE

TOKYO

開催日時

2026. 3 / 8 sun 10:00 > 17:00

会場

株式会社ヨシダ 東京本社

〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

定員

70名

受講料

5,500円(税込・昼食付)

内訳: 受講料5,000円(税別) + 消費税500円 10%対象

3DX in TOKYO 特設サイト

3D PRINTING EXPERIENCE

セミナーの詳細やお申し込みは、特設サイトをご覧ください。右の二次元コードから簡単にアクセスできます。



お申込み

ヨシダのホームページより  
お申込みください。

<https://www.yoshida-dental.co.jp>

ヨシダ



スマホからは  
QRで簡単アクセス



ご提供いただいた個人情報につきましては、弊社事業に関する情報、製品に関する情報の提供等、弊社インターネットホームページに掲載した個人情報保護方針「利用目的」の範囲内で利用させていただきます。

セミナー内容について  
お問い合わせ

株式会社 **ヨシダ**

画像・CAD/CAM部

TEL.03-3845-2925 平日 10:00-17:30

G-PLUS会員登録や  
セミナー受講方法の  
お問い合わせ

[g-plus@yoshida-dental.co.jp](mailto:g-plus@yoshida-dental.co.jp)

※メールでの受付・回答のみとさせていただきます。  
※お問合せは順次対応させていただきますが、状況により回答まで  
お時間をいただくことがございます。予めご了承ください。

## Overview

印象材による印象採得やロストワックス精密鑄造を経てCAD/CAMによるミリング、CTやIOSデータとのマッチング活用等、デジタル化は急激な変化を歯科分野にもたらし続けています。

今回の「3DX in TOKYO」では、いま最も注目される次世代3Dプリンタ「SprintRay」による積層造形法とその臨床応用について、五名のエキスパートの先生方を迎えて講演とディスカッションを行います。

私自身もその内容に大いに期待しております。

## Moderator

株式会社カロス 取締役

増田 長次郎 先生

DT. Chojiro Masuda



## 1st session

### 歯科用3Dプリンターの臨床応用 ～デジタルデンティストリーの現在地～

インプラント治療を正確かつ安全に行うためにCTによる3次元診断を行い、顎骨モデルとサージカルガイドを歯科用3Dプリンターで製作。それが3Dプリンターを導入したきっかけである。次世代のプリンターの活用は、アライナー、デンチャー、クラウンであるが、未重合層の問題や強度不足など長期的に使用するにはまだ不十分。しかしそれ以上に日本の歯科界における歯科技工士不足は深刻で、平均年齢は50歳以上と異常に高く、歯科技工士を目指す若者も教育機関も減少している。インレーやクラウンなど単純な修復・補綴物においては歯科医自身が製作しなければならず、そのためには今以上に「スピード、簡便性、低価格な機材、小型化」などあらゆる点でベネフィットが必要不可欠である。ラボで活用する大型プリンターと院内で活用する卓上型小型プリンターの使い分けと優位性、そして臨床への導入について考察したい。

医療法人社団京和会  
KU歯科クリニックグループ  
理事長

梅田 和徳 先生

Dr. Kazunori Umeda



## 2nd session

### スプリントレイを用いた院内活用とDX化について

スプリントレイは、デジタルデータを基盤とした多様な技工操作を院内で完結可能とするソリューションであり、診療効率および精度の向上が期待されます。本院では口腔内スキャンデータを活用し、設計から造形までを一貫して院内で行うことで、治療の即時性と再現性を高めてきました。これにより診療プロセスの標準化と省力化が実現しました。本講演では、DX推進の実践例としてその有用性を検討いたします。

愛知県名古屋市  
なみき通り歯科・矯正歯科 院長

安藤 壮吾 先生

Dr. Shogo Ando



## 3rd session

### Digitally Driven Dentistry -SprintRayで加速する歯科臨床-

近年、積層造形による補綴装置の製作が注目され、基礎、臨床両面でのエビデンスの蓄積が急務となっています。本講演では、本邦にて管理医療機器・歯冠用硬質レジンとして認証されたハイブリッドレジン材料「SprintRayクラウン」をCAD/CAM冠用レジンやPMMAブロックとの違いから俯瞰し、本材料の臨床的な立ち位置について考察すると共に、材料特性（強度・接着・耐摩耗性）を踏まえた適応の考え方と、3Dプリンターの強みを活かす臨床応用のポイントを整理します。

愛知県海部郡蟹江町  
月星歯科クリニック 理事・副院長

月星 陽介 先生

Dr. Yosuke Tsukiboshi



## 4th session

### 3Dプリントデンチャーの製作と その注意点

歯科用3Dプリンタを使用した総義歯（3Dプリントデンチャー）は、患者の来院回数やチェアタイムの削減、技工作業の削減や均質化、再製作の容易さといった利点を有しています。以前は理工学的性質などの課題が指摘されていたものの、近年では問題ないレベルに改良されて臨床応用が進んできており、遂に保険収載されるに至りました。本講演では、今回3Dプリントデンチャーの製作とその注意点についてまとめてみたいと思います。

東京歯科大学  
老年歯科補綴学講座 准教授

竜 正大 先生

Dr. Masahiro Ryu



## 5th session

### SprintRay Pro2およびMIDASにおける 3Dプリンティング技術の臨床応用とデジタル歯科の展望

本講演では、SprintRay社の3Dプリンタ「Pro 2」および「MIDAS」を中心に、その性能特性、臨床応用、ならびに材料開発の最新動向について解説いたします。加えて、CAD/CAMをはじめとするデジタル機器との連携を含め、デジタル歯科におけるワークフローの現状と今後の展望についてご紹介いたします。また、保険収載された3Dプリントデンチャー材料に着目し、臨床応用の可能性や導入時の留意点についても触れ、歯科臨床における3Dプリンティング技術の有用性について考察いたします。

東京科学大学  
高齢者歯科学分野 教授

金澤 学 先生

Dr. Manabu Kanazawa

